

さんいく 恭

題字「さんいく」は、元賛育会後援会名誉会長故湯浅恭三氏の筆です

賛育会後援会だより 2020年11月号・第101号

賛育会後援会事務局・〒130-0012 東京都墨田区太平3-17-8 TEL 03-3622-7614・編集発行者 木村 庸五

被災から1年、豊野事業所の今と今後の展望

豊野事業所が被災してから1年が経過しました。建物・設備の復旧工事は厨房を残していますが、計画しているすべての事業が再開されました。

被災して1年、そしてこれからの豊野事業所の展開について、被災直後から現場で陣頭指揮にあたり、復旧に尽力している豊野事業所の責任者、森佐知子氏（老健ゆたかの事務長）にお話をうかがいました。

—今の状況—

建物・設備の復旧工事は厨房を残していますが、計画しているすべての事業が再開されました。この復旧工事にかかった経費は16億円、災害助成金の申請をしていますが、まだ決定しておらず、相当額の自己負担金の発生が見込まれます。また事業休止による収入の不足分などは借入等自己調達によっています。しかし、このような中で皆様から6千万円にも及ぶご寄付をいただいたことは大きな支えとなりました。感謝申し上げます。



—この1年を振り返って、改めて強く思うことは—

「感謝」ということしかありません。ご利用者の皆様の避難、他施設・病院への移動、泥かきや被災した物品の処分から始まり今日に至るプロセスの中で、多くの関連機関の支援、3000人を超えるボランティアの皆様、静岡や東京からも支援し続けて下さる法人職員の皆様、ご寄付をいただいた多くの皆様、何より自らも被災者でありながらご協力していただいた地元である豊野地域の方々に改めて感謝申し上げます。

—今回の経験から発見したこと、再確認できたことは—

まず、12月10日に入所系のご利用者の受け入れ再開が始まり、他法人の施設に一時

避難されていた多くの方々が戻ってこられた時には、私も、職員も全員が涙を流して喜び合いました。私たちの仕事の原点がここにあり、職員一人ひとりも色々な考え方がありますが、この原点のところでは同じだということを改めて確認できました。

次は、なんととっても地域との関係が強固になったことです。被災前も地域での活動を行っていましたが、意外と知られてなかったなど感じることもありました。また、今回被災直後から職員による地域支援活動を始めましたが、そのことで地域の皆様と「顔の見える関係」を作ることができたと感じます。その関係が深まる中で、率直な地域の皆様の声や願いが届けられるようになり、地域支援活動に活かすことができ、被災した方々から逆に励ましのお手紙や、ご寄付をいただいたりもしました。また、近隣の病院や施設との関係も緊密になり、行政の方々との相談や協力もスムーズになったと感じています。



— これからの豊野事業所の事業展開や展望 —

まず地域活動ですが、被災前に実施していた「幸腹食堂」などの活動について、被災を通して構築できた地域との関係をベースにして、より深く地域に根差した活動として再開していきたいと考えています。

しかし、その前提として豊野地域そのものの復興がない限り、地域活動も私たちの事業も成り立つことはできませんので、このあとも事業所をあげて地域の復興に尽力いたします。

そして来年度はすべての事業・サービスについて、沢山の地域の皆様にご利用いただき、黒字になるように職員一丸となって取り組みます。地域で求められている事業やサービスを、地域のニーズに合わせて高いケア水準で提供できることの証明として、事業が「黒字」になると考えているからです。

この復興のプロセスの中で、新型コロナウイルス感染症の全国的な感染拡大が起きました。職員は感染症予防のため、日々緊張の中で最善を尽くしており、精神的にも肉体的にも疲労しておりますが、本当によく頑張ってくれていると思います。

— 最後に、支援してくださっている皆様に伝えたいこと —

多くのご寄付をいただいたことに感謝しております。ご寄付額だけでなく1000名を超える多くの方々に支えていてくださることに感動しています。寄付をすることはお金だけではなく、そこにいる人の心を支えることなのだ実感しています。私たちと私たちを取り巻く地域の復興はまだまだこれからです。引き続きご支援いただきますよう改めてお願い致します。ありがとうございます。

(インタビュー 西原良信後援会副会長)

皆様のお支えに感謝いたします

2020年(4.1～9.23) 豊野復興募金 後援会会費・寄付金納入者 *敬称略、順不同

* 豊野事業所復興募金寄付者

法人・企業・学校・教会等

(株)MAsT.co	個人	染谷 一美	宮子 あずさ	三上 淳	上野 友子	村野 繁
(株)ニッテイ建築設計	エビ サナエ	宮川 友紀	山口 あき子	城谷 美恵子	多田 裕志	
(株)ムトウ	阿形 小百合・紀洋	宮澤 久美子	山根 一毅	植田 尚子	太田 聡	
(株)北信臨床	栗田 紀美江	宮澤 明住	山添 仰	新井 悟	大口 邦雄	
(株)有馬技研	安間 ちょう子	宮澤 利久・とし子	山田 公平	新屋 ひかり	大山 知康	
インターサイト(株)	安達 聡子	橋本 修幸	山田 美恵	新海 洋子	大西 孝治	
かけはし信託愛の基金	安藤 伸介	金子 美乃里	山本 雅美	新田 三千代	大谷 直子	
シャカイフクシホウジンサンイ	安本 由美	駒澤 裕介	山本 秀樹	森 佐知子	大塚 由紀江	
ハニカム・テクノロジーサーチ(株)	伊原 静子	熊倉 千雅	山本 美智江	森 博司	大平 優子	
みこ猫を愛する会	伊与田 恵美子	桑原 英明	市川 友理	森 裕子	大野 勉	
医療法人社団相明会	井口 芳枝	月本 昭男	児玉 忠志	森高 ホサナ	池上 典代	
玉の肌石鹸(株)	井山 美葵	原田 信	鹿野 真朱美	神戸 和夫	中山 順	
九州大学YMCA一麦寮	井上 真二	古賀 あつ子	室賀 聡子	神谷 尚孝	中川 透	
公益財団法人日本公衆電話会 長野支部	井筒 洋一	古閑 京子	篠原 正雄	神林 章	中村 考一	
公益社団法人全国老人保健施設協会	雨宮 武士	古田 和彦	柴田 もも	針谷 保	中村 和郎	
坂田建設(株)	雨田 麻美	吾郷 由佳	柴田 和子	須江 みのり	中野 若菜	
社会福祉法人日本キリスト教奉仕団	永島 公明	後藤 有紀子	社 紀子	水上 智代	中野 晋	
社会福祉法人福音会	榎本 考伸	高橋 桂子	秋田 正人	水島 恵理	長尾 真理	
草津教会	榎本 祐子	高橋 謙治	渋谷 智美	水野 亜希	塚松 このみ	
池新田モーターズ有限公司	横井 美香	高橋 敏子	小根澤 宏介	菅原 美穂子	塚本 浩巳	
長野県歯科衛生士会 小澤智里	横田 裕祐	高戸二三男・佐和子	小川 美奈	菅沼 寿江	鶴岡 哲也	
長野佐久教会	岡田 恵	高島 勇夫	小川 文子	菅谷 淳	渡壁 真紀子	
東京YMCA	沖 麻実	高木 英二	小泉 宗政	瀬戸 愛	渡辺 雅子	
特定非営利活動法人 長野県歯科衛生士会	下条 知加子	高野 義裕	小泉 由美	星 恵輔	渡邊 理恵子	
日本アサヒ機工販売(株)	加藤 晃	黒川 純	小田部 義夫	清水 孜	土屋 公子	
日本キリスト教団長野県町教会	加藤 篤史	黒澤津 信利	小暮 真理子	清水 淳子	土屋 俊貴	
日本給食設備(株)	河野 玄永	今城 慰作	小林 俊治	清水 伸郎	島村 類子	
白十字株式会社	垣内 史堂	佐久間 春枝	小林 正和	清水 成美	島田 光	
飯綱町社会福祉協議会	梶村 慎吾	佐藤 幾洋子	小林 道彦	生井 知三	島田 朋子	
北信州キリスト教会災害対策室	鎌田 仁美	佐藤 義則	小林 高子	西原 良信	島田 茂	
有限会社エースプリント	丸目 陽子	佐藤 奈美子	小澤 英輔	斉藤 清司	東方 美和子	
たちばなホーム	岩見 宣治	坂井 弘紀	松坂 剛志	斉藤 知弘・純子	藤原 和恵	
マイホーム新川	岩村 燕士	坂井 明日香	松村 ひとみ	石井 美奈	藤森 修	
賛育会病院	吉川 禎洋	坂口 久吾	松村 隆	石田 優	藤沢 陽子	
清風園	吉田 建治	坂上 幸男	松田 悦子	赤堀 彩乃	徳竹 美穂	
第二清風園	久保 大翔	坂本 登喜子	松田 光代	折本 裕子	内山 卓太郎	
東海清風園	宮 仁志	三浦 正恵	松本 京子	川崎 敏	柏谷 由紀子	
東京清風園	宮井 昭信	三橋 昌恵	松本 芳恵	浅野 美咲	白澤 律子	
賛育会法人事務局	宮下 拓也	齋藤 美智代	上原 敦子	相澤 千代子	飯田 和子	
豊野清風園	宮坂 芳文	村山 あや	齊藤 實	當間 己喜	比企 和昭・理恵	
					匿名希望 3名	

* 後援会寄付金・会費納入者

法人・企業・学校・教会等

フットマーク(株)	個人	岩村 燕士	三浦 正岐	萩野 瑞	駿河 敬次郎	イチカワ ユウゾウ
㈱教文館	篠原 正雄	長島 章	並木 信一	森重 勝	井口 房枝	
	藤永 敬士	田中 沙織	羽生 隆司	住田 学	鮎澤 澄子	
	角田 彩子	橋本 章	村上 俊一	小高 春代		

*2020年4月からこちらへの入金日で処理をしておりますので、クレジットカードでご寄付いただいた方については、3月末までの報告と重複している場合、また2020年9月までのご寄付いただいた方で今回記載がない場合があります。ご了承ください。

11/26 豊野事業所復興と地域支援のコンサートを開催

～地域の皆様とご支援して下さった方々をご招待して～

豊野事業所復興のために、地域の皆様、関係団体、ご寄付して下さった皆様、ボランティアの皆様等多くの方々が支援して下さっています。この度、地域の皆様に音楽を通して癒しと安らぎの時間を過ごしていただき、お世話になっている皆様に感謝を伝え、引き続き支援をお願いするために、地域住民の方や支援者の皆様の招待と一般公募（100名様程度）によるチャリティコンサートを実施することになりました。このコンサートにかかる経費は任意のご寄付によって確保する予定です。また、コンサートの実行委員会は豊野事業所の職員、地元にお住いの皆様を中心に、後援会役員、例年コンサートの実行委員をして下さる方々、賛育会各施設の職員によって構成されています。



日時 2020年11月26日(木) 19:00開演

場所 ホクト文化ホール大ホール(長野市)

出演 倍賞千恵子 小六禮次郎 大谷康子

*ご招待と一般公募のみとなります。

ご寄付の方法が変更になります

～郵便振替は新しいリーフレットをご使用ください～

11月1日より、賛育会後援会募金リーフレット(郵便振替用紙付き)が新しくなりました。郵便振替番号が変更になっております。今後はこの新しい振替用紙をご使用ください。また、寄付金・募金のお手続き方法は、当面次のいずれかをお願いいたします。

① 郵便振替 ② 現金(直接持参)

*銀行振込、クレジットカード決済は現在一時休止中です。再開予定の時期につきましては、改めてご案内いたします。寄付・募金方法でお困りの場合は、後援会事務局までご連絡ください。

*後援会事務局(賛育会法人事務局内 TEL 03-3622-7614)

編集後記

豊野事業所の被災から1年、復興の途上で新型コロナ感染拡大があり、現場で働く職員の方々の緊張感や疲労は大変なものがあったでありましょう。まさに苦難に次ぐ苦難です。その中で、「神様は耐えられない試練は与えられないと」信じて前進している職員や関係者の方々に拍手を！最後に、森氏の「寄付をすることはお金だけでなく、そこにいる人の心や精神を支えることなのだ」という言葉が心に残ります。皆様、これからもお支えをよろしく願います。(Y.N.)